

平成21年2月9日

各 位

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
 代表者 代表取締役社長 堀 直樹
 (コード番号 5955)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 川瀬 晴夫
 (TEL 075-591-2131)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,410	65	70	20	0.13
今回発表予想(B)	5,720	5	1	△150	△1.05
増減額(B-A)	△690	△60	△69	△170	——
増減率(%)	△10.8	△92.3	△98.6	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	6,735	91	181	913	5.86

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,250	35	50	10	0.07
今回発表予想(B)	3,800	5	15	△85	△0.59
増減額(B-A)	△450	△30	△35	△95	——
増減率(%)	△10.6	△85.7	△70.0	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,454	28	69	778	5.00

修正の理由

(1)連結業績

当連結会計期間の上半期より、原材料価格の高騰、棚卸資産評価の会計基準の変更に伴う評価損計上など、厳しい環境が続いておりました。第3四半期に入り世界的な金融危機に伴う急激な世界経済の減速が一層加速したことに伴い、自動車業界等の主要取引先の生産計画下方修正等の影響を大きく受け、当グループの主要事業の金属製品事業、電線ケーブル事業におきまして受注減少を余儀なくされております。

第4四半期におきましても、当グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況で推移すると予想され、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも平成20年11月4日に公表致しました通期業績予想を下回る見込みとなりました。

経常利益の減少額と比較し当期純利益の減少額が大きい主な要因は、繰延税金資産の取崩しによるものであります。

(2)個別業績

個別業績修正の理由につきましても、連結業績で述べた理由と同様であります。

厳しい経営環境ではありますが、当グループといたしましても更なる営業努力、経費削減、生産効率の向上に鋭意努力する所存でございます。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上